



四国がんセンター
泌尿器科



私たち医療スタッフは

- I 入院や抗がん剤治療に対する不安を軽減し、最良の状態で治療が受けられるようにお手伝いします
- II 抗がん剤治療の副作用や苦痛を軽減し、安全に治療を続けることができるようにお手伝いします



Dose-Dense MVAC療法を 受けられる方へ

_____さま

主治医

受け持ち看護師

2026年6月19日 作成
2026年8月21日 改訂

Dose-Dense MVAC療法のスケジュール



この他に、アレルギー予防や発熱予防のための注射薬があります

- 抗がん剤を投与したときに、過敏反応が起こることがあります
過敏症状がでたら、早めに点滴を止めることが大切です
- 息が苦しい、胸がドキドキする、吐き気など気分が悪いときは
我慢をしないで、すぐに医療スタッフにお知らせください



治療前の歯科受診について

- ◆ 治療時に起こる口のトラブルを予防し治療が円滑に進むように、治療開始前の
歯科診察を行っています
- ◆ 治療前の歯科受診では、以下を行います
 - レントゲン検査・診察（口腔内の状態を診る）
 - 歯ブラシではとれない細菌の除去
 - 適切なセルフケア（歯磨き、うがい）指導
- ◆ 通常1～2回の受診で終わることができます

口の中はとても細菌の多い場所です

治療中や治療後に、その細菌が悪影響を及ぼすことがあります
特に、治療後の口内炎・肺炎等を防ぐには治療前から口の中を
きれいにし細菌をできるだけ減らしておくことが有効です



排便について

普段からご自身の便の性状を確認し、入院中に排便調整の目安や方法を医療スタッフと一緒に確認しておきましょう

排便回数が4回以上増えたとき、下記の表の6（泥状便）～7（水様便）の排便が続くとき、周期的に腹痛があるときはすぐに医療スタッフに伝えましょう

3日以上排便がない、いきまないと便が出ない、便は毎日出ているがすっきりしない腹部膨満感などの症状があるときは、排便回数や性状によって緩下剤を使用します

※排便の状況や下痢・便秘の辛さは人によって違います

※排便のコントロールが難しい場合は看護師と解決方法を相談しましょう

便の性状について（ブリストルスケール）

ブリストルスケールは、便のタイプ（硬さ）を7種類に分類した世界共通の尺度です
自分の便のタイプを知り、排便調整の参考にしましょう

1	コロコロ便		硬くてコロコロの 兔糞状の便
2	硬い便		ソーセージ状であるが 硬い便
3	やや硬い便		表面にひび割れのある ソーセージ状の便
4	普通便		表面がなめらかで柔らかい ソーセージ状、あるいは 蛇のようなとぐろを巻く便
5	やや軟らかい便		はっきりとしたしわのある 柔らかい半分固形の便
6	泥状便		境界がほぐれて、ふにゃふにゃの不定形の小片便 泥状の便
7	水様便		水様で、固形物を含まない 液体状の便

入院中の生活の注意点

- ◆治療中は免疫力低下のため、感染リスクが高くなります
マスクの着用、手洗い・うがいをしましょう
入院中、手洗いの動画をテレビの無料チャンネルで視聴できます
- ◆口の中は清潔にするよう心がけましょう
- ◆排泄を促すために水分をしっかりととりましょう
- ◆膀胱に尿が溜まったままの状態は、腎臓や膀胱に負担がかかり炎症を起こすことがあります
尿意を感じたら、我慢をしないでトイレに行きましょう
- ◆排尿時に痛みや残尿感がある場合には看護師にお伝えください
- ◆正しく安全に点滴を投与するために輸液ポンプを使用します
 - ・点滴が入っている部位を曲げたり、ねじったり、また、点滴チューブをひっぱったりしないようにしてください
 - ・歩行時は、点滴台を支えにして歩くと転倒する可能性があります
点滴台は、支えにしないようにしましょう



こんなときは看護師にお知らせください

- *輸液ポンプを使用しているときに機器のアラーム音が鳴ったとき
- *点滴が入っている部位に違和感や痛みを感じたり、腫れてきたとき



- ◆抗がん剤治療開始から治療後2日間ほどは、尿や便などから抗がん剤が排出されます
尿や便に直接触れても健康に直接被害を及ぼすことはありませんが、できるだけ周りに広げないように以下のことに注意しましょう

- ・男性の方は飛び散り防止のため、
座って排尿しましょう



- ・尿がこぼれた場合は、トイレットペーパーできれいに拭き取りトイレに流しましょう
2度拭き取ると良いでしょう



- ・トイレの後、フタがある場合は、
フタをして水を2回流しましょう

- ・ナプキンや尿とりパッドを使用している場合は、看護師にお知らせください
 - *使用済みのナプキンや尿とりパッドは、ナイロン袋に入れて口を結びましょう
 - *トイレからナースコールを押して、看護師に渡しましょう

- ・トイレのあとは石けんなどでよく手を洗いましょう
- ・尿や吐いてしまったもので衣類が汚れた場合は、ほかの洗濯物と分けて洗濯しましょう

ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、よりよい状態で退院を迎えられるように患者さんご自身の目標と医療スタッフの目標をあげています

入院は約8日間の予定です

抗がん剤治療の副作用は、個人差があり、体の状態によっては予定どおりにすすまないこともあります。その都度対応していきますのでご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活を不安なく送れるように支援させていただきます





今日の目標

- ・ 治療の必要性、副作用について理解できる
- ・ 医療スタッフの説明が理解できる

<時間>

<予定>

水分は1000mlを目標にとりましょう

11:00

入院

【入院後に以下のことを予定しています】

- ・ 看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明
(テレビの病院案内も参考にしてください)

12:00

昼食

- ・ 検温、血圧測定、身体測定
- ・ 連絡先、既往歴、生活習慣などの聞き取り
- ・ 歯科受診
- ・ 血液検査、尿検査
- ・ 医師より治療について説明があります
- ・ サインをした同意書は看護師にお渡しください
- ・ わからないことやもう少し詳しく説明を聞きたいことなどが
ありましたら、遠慮なくお尋ねください

<お薬>

- ・ 他の病院で処方された薬は、一度お預かりします
医師に確認後、続けるか、中止するかをお伝えします
- ・ 薬剤師より治療薬の説明があります

<食事>

- ・ 午前入院の場合は昼食から提供します
- ・ 食物アレルギーのある方は医療スタッフにお知らせください
- ・ 基礎疾患(糖尿病、高血圧等)がある方は、治療食になる
場合があります
- ・ 初回治療のときは、管理栄養士より病院食や食事の工夫に
ついて説明があります
- ・ 2回目以降、味覚障害や食欲不振等がある場合、栄養指導を
希望される場合は、お知らせください

18:00

夕食

<睡眠>

21:30

消灯

- ・ 眠れない場合は安定剤を服用することができます

医療スタッフの目標

- ・ 安心して治療が受けられるように支援します





今日の目標

- 安全に治療を受けることができる
- 治療の副作用について理解できる
- 副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる

<時間>	<予定>	
6:00	起床 検温、血圧測定	水分は1500mlを目標にとりましょう
7:30	体重測定 朝食	
10:00	検温、血圧測定 過敏症、点滴部位の痛み・血管痛、吐き気・嘔吐、便秘、下痢 について説明します 「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照	
12:00	昼食	
13:00	点滴前にトイレに行きましょう 点滴を始めます ※抗がん剤の投与前、開始5分後、終了時には、体温、血圧、脈拍、 酸素飽和度を測定します アレルギー症状の早期発見のために、抗がん剤投与前から終了まで、 心電図モニターを胸に装着します	
14:00	検温、血圧測定 シャワー浴をしましょう	
18:00	夕食	フタをして水を 2回流しましょう
19:00	検温、血圧測定	
21:30	消灯	



点滴スケジュール

13:00 頃 ～ 点滴を始めます

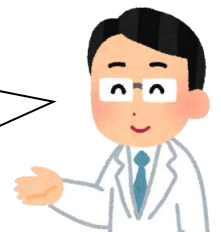
1 本目	生理食塩水 100ml の点滴を行います
2 本目	生理食塩水 100ml + メソトレキセート（抗がん剤）が入った点滴を約 30 分で行います
3 本目	生理食塩水 50ml の点滴を約 5 ～ 10 分で行います その後、針を残した状態で点滴を終了します

- 針の入っているところが赤い、腫れている、痛みがあるときはすぐにお知らせください
- 呼吸が苦しい、吐き気がする、胸が苦しい、体がかゆい、気分が悪いときは、我慢をしないでお知らせください
- 眠気が強いとき、めまいやふらつきがあるときは動く前にナースコールをしてください



医療スタッフの目標

- アレルギー症状や副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます





今日の目標

- ・安全に治療を受けることができる
- ・副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- ・薬を正しく服用することができる

<時間>

<予定>

水分は1500mlを目標にとりましょう

6:00

起床
検温、血圧測定

7:30

体重測定
朝食

9:00

点滴前にトイレに行きましょう
検温、血圧測定フタをして水を
2回流しましょう

点滴を始めます

- ・抗がん剤の投与前、開始5分後、終了時には、体温、血圧、脈拍、酸素飽和度を測定します
- ・アレルギー症状の早期発見のために、抗がん剤投与前から終了まで、心電図モニターを胸に装着します

12:00

昼食

味覚障害・食欲不振、倦怠感について説明します
「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照

14:00

検温、血圧測定

点滴が終了したら針を抜きます
体調に合わせて体を拭くこともできます
看護師がお手伝いします

18:00

夕食
夕食後、オランザピン錠を2錠服用します

19:00

検温
血圧測定眠気が強く出ることがあるので、薬を飲む前に
トイレに行きましょう
また、夜ふらつくときは看護師を呼びましょう

21:30

消灯

点滴スケジュール

9:00～ 点滴を始めます

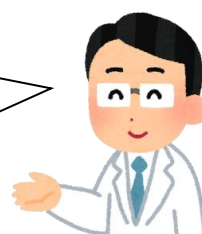
1本目	吐き気止め点滴を15分を行います
2本目	アプレピタントカプセル（吐き気止め）を服用します 500mlの点滴を約1時間で行います
3本目	生理食塩水100ml＋エクザール（抗がん剤）が入った点滴を 約15分で行います
4本目	生理食塩水100ml＋ドキシソルビシン（抗がん剤）が入った 点滴を約30分で行います
5本目	生理食塩水500ml＋シスプラチン（抗がん剤）が入った 点滴を約2時間で行います
6本目	500mlの点滴を約1時間で行います
7本目	500mlの点滴を約2時間で行います
8本目	500mlの点滴を約2時間で行います 終了後針を抜きます

- 針の入っているところが赤い、腫れている、痛みがあるときは
すぐにお知らせください
- 呼吸が苦しい、吐き気がする、胸が苦しい、体がかゆい、
気分が悪いときは、我慢をしないでお知らせください
- 眠気が強いとき、めまいやふらつきがあるときは動く前に
ナースコールをしてください



医療スタッフの目標

- アレルギー症状や副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます





今日の目標

- ・副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- ・薬を正しく服用することができる

<時間>

<予定>

水分は1500mlを目標にとりましょう

6:00

起床
検温、血圧測定



フタをして水を
2回流しましょう

7:30

体重測定

朝食

朝食後、デカドロン2錠、アプレピタント1カプセルを服用します

10:00

検温、血圧測定

口内炎、皮膚障害、腎機能障害について説明します
「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照

12:00

昼食

シャワー浴をしましょう



18:00

夕食

夕食後、オランザピン錠を2錠服用します

19:00

検温

血圧測定

眠気が強く出ることがあるので、薬を飲む前に
トイレに行きましょう

21:30

消灯

また、夜ふらつくときは看護師を呼びましょう

- ・針が入っていたところが赤くなった、腫れている、痛みがあるときは、すぐにお知らせください
- ・吐き気がする場合などは、医療スタッフにご相談ください

医療スタッフの目標

- ・副作用症状の早期発見に努めます
- ・抗がん剤の血管外漏出予防に努めます





今日の目標

- 副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- 薬を正しく服用することができる

<時間>

<予定>

水分は1500mlを目標にとりましょう

6:00

起床
検温、血圧測定



フタをして水を
2回流しましょう

7:30

体重測定

朝食

朝食後、デカドロン2錠、アプレピタント1カプセルを服用します

10:00

検温、血圧測定

白血球低下予防のために皮下注射をします

息切れ・動悸、神経障害、浮腫について説明します
「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照

12:00

昼食

体調に合わせて
シャワー浴を
しましょう



18:00

夕食

夕食後、オランザピン錠を2錠服用します

19:00

検温

血圧測定

眠気が強く出ることがあるので、薬を飲む前に
トイレに行きましょう

21:30

消灯

また、夜ふらつくときは看護師を呼びましょう

- 針が入っていたところが赤くなった、腫れている、痛みがあるときは、すぐにお知らせください
- 吐き気がする、ひどい口内炎がある、手足のしびれが強い場合などは、医療スタッフにご相談ください
- 頭痛や強い体の痛みがある場合は、痛み止めを使用することができます

医療スタッフの目標

- 副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます





今日の目標

- ・副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- ・薬を正しく服用することができる

<時間>

<予定>

水分は1500mlを目標にとりましょう

6:00

起床

7:30

体重測定

朝食

朝食後、**デカドロン2錠**を服用します

10:00

検温、血圧測定

脱毛、肺障害について説明します

「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照

「がん治療による脱毛に備えて（頭髪編）」パンフレット参照

12:00

昼食

外来で治療を受けられる方

- ・外来治療についてのオリエンテーションがあります
- ・通院治療室の説明と見学があります

体調に合わせて
シャワー浴を
しましょう



18:00

夕食

夕食後、**オランザピン錠を2錠**服用します

21:30

消灯

眠気が強く出ることがあるので、薬を飲む前に
トイレに行きましょう
また、夜ふらつくときは看護師を呼びましょう

- ・吐き気がする、ひどい口内炎がある、手足のしびれが強い場合などは、医療スタッフにご相談ください
- ・頭痛や強い体の痛みがある場合は、痛み止めを使用することができます

医療スタッフの目標

- ・副作用症状の早期発見に努めます





今日の目標

- ・副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- ・退院後の日常生活の注意点について理解できる

<時間>

<予定>

水分は1500mlを目標にとりましょう

6:00

起床

7:30

体重測定
朝食

血液検査、尿検査（治療6日目）

10:00

検温、血圧測定

治療6日目：骨髄毒性について説明します
「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照

12:00

昼食

体調に合わせて
シャワー浴を
しましょう



18:00

夕食

【退院前日】
看護師より退院当日の流れと退院後の日常生活について説明があります

21:30

消灯

- ・吐き気がする、ひどい口内炎がある、手足のしびれが強い場合などは、医療スタッフにご相談ください
- ・頭痛や強い体の痛みがある場合は、痛み止めを使用することができます

医療スタッフの目標

- ・副作用症状の早期発見に努めます
- ・退院後の準備をすすめられるよう支援します



退院日 月 日



今日の目標

- ・退院後の日常生活の注意点について理解できる
- ・退院できる

<時間>

<予定>

6:00

起床
検温、血圧測定

7:30

朝食

お預かりしている薬、退院の薬がある場合はお渡しします
次回外来予約票をお渡しします

10:00

退院
退院前に忘れ物がないようにご確認ください
「入院診療費料金連絡票」を病室にお届けしますので、
2階医事受付窓口でお支払ください

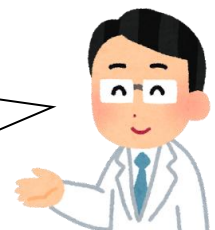
水分は1500mlを目標にとりましょう

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・退院後の日常生活に不安がないように支援します





ウィッグ以外にも
お役立ち製品が色々♪



メイク ネイル用品

ウィッグ 帽子 ヘア用品 ネックカバーなど

治療によって脱毛・肌や爪のトラブルが起こる可能性がある方に、上記展示品の案内や試着を行っています

お住まいの自治体によっては、治療に伴うウィッグに関する助成制度を設けています
詳しくは、本館2階『がん相談支援センター』でご相談ください

※暖だんでの販売は行っておりません

気になる製品については購入方法をお伝えしています

外来で抗がん剤点滴治療を受けられる方へ

通院治療の流れ

① 受付



B受付

② 採血
中央処置室



☆採血時のお願い☆

採血時に注意することは退院前に確認しておきましょう
点滴予定の腕とは反対の腕で採血しましょう



採血結果が出るまで、
約30分～1時間かかります

③ 診察受付

A受付

B受付

C受付

S受付

呼吸器科
消化器科
緩和ケア
感染症腫瘍内科
骨軟部腫瘍・整形外科
禁煙外来

泌尿器科
血液腫瘍内科
原発不明がん診療科

④ 診察

乳腺外科
婦人科
形成外科
頭頸科・甲状腺腫瘍外科
歯科
病理診断科

消化器内科
糖尿病内科
内分泌内科
循環器内科
皮膚科
眼科
精神科
脳神経外科
リンパ浮腫
がんゲノム医療外来

治療決定

S受付

⑤ 治療
通院治療室

看護師が点滴の針を刺し、
確認後に抗がん剤を開始します

治療終了

検査や他の診療科で診察のある方は、各受付へ

検査の説明を受ける方は、予約センターへ

⑥ 会計

処方箋もすべてファイルに入れたまま総合受付 **6番窓口** に提出してください。

***お薬の処方がある方へ**

6番窓口で処方箋をお渡しします。4日以内にお薬をお受け取りください。

予約センターは
B受付の隣です



通院治療室での過ごし方

- 外来で初めて治療を受ける方は、説明と確認を行うため、少し時間がかかります。
- 入室時に、ベッドか椅子を選択できますが、混雑時にはご希望に添えないこともあります。
- テレビは無料で利用できます。ラジオや音楽プレイヤー等の持ち込みも可能です。ご利用される場合にはイヤホンをご用意ください。
- 携帯電話はマナーモードに設定し、通話をご遠慮ください。
- 通院治療室内での飲食は可能ですが、においの強いものはご遠慮ください。飲食される方は、各自でご準備ください。
- トイレは通院治療室内のトイレをご使用ください。男女兼用ですが、3か所あります。
- 付き添いは原則ご遠慮いただいております。ご家族の待機場所として「暖だん」や「図書コーナー」などがあります。
- 副作用や日常生活で困っていることや相談したいことがあれば、いつでもスタッフに声をおかけください。



退院後の日常生活について

●活動

治療の影響で貧血や感染症にかかりやすくなります
貧血の症状は、めまい、立ちくらみ、息切れ、ふらつき
頭痛などがあります

体を動かすときは、無理をしない程度にしましょう

白血球が下がっているときは、なるべく人混みは避けましょう

外出時はマスクを着用して、帰宅時に手洗い・うがいをしましょう

足のしびれが強く日常生活に影響がある場合は、医療スタッフにご相談ください



●食事

吐き気や嘔吐、食欲低下などが起こることがあります。

その場合は、無理せず食べられるものを探し、食事はゆっくりと
時間をかけたり、少量ずつ可能な範囲で食べるとよいでしょう

食事ごとに吐いてしまうときは、1～2食、食事は控えてみましょう

水分はこまめにとるようにしましょう

●清潔

入浴やシャワー浴をして体を清潔にしてください

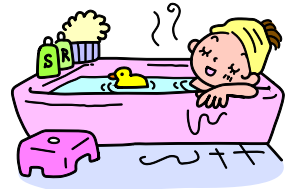
出血しやすい時期は、入浴や着替えの際に全身を確認しましょう

皮膚が乾燥している場合はクリームなどで保湿しましょう

皮膚の変化は、ご自身では確認しにくい場合がありますので

ご家族など周りの方に見てもらいましょう

発熱時やだるさが強い場合は、入浴を控えタオルなどで体を拭きましょう



歯磨き、うがいをしてお口の中をきれいにしておきましょう

虫歯、歯肉炎、義歯の不具合などがなければ確認しましょう

歯科治療を希望される場合は、担当医に歯科受診についてご相談ください

●腎臓への影響

水分はしっかり取りましょう

血液検査で腎機能の変化が出ることがあります

また、からだの変化として、尿の量が少なくなる、足や顔がむくむなどの症状がある場合は、医療スタッフにお知らせください

●排泄

毎日排便があるように、軽い運動や水分を多めにとりましょう

便秘気味の方は、緩下剤（便をゆるくする薬・押し出す薬）で排便コントロールをしましょう

退院までに医療スタッフと対処方法について相談しておきましょう

＊退院後、便秘が続き、ガスがない、下痢や吐き気、腹痛がある場合は、かかりつけ医または、四国がんセンターの医師の診察を受けるようにしましょう

●聴力への影響

耳鳴りや聞こえにくさ（特に高い音）を感じたら、医師に相談してください

●お薬

薬の処方がある方は、医師の指示どおりに服用してください
他の病院の薬を服用する場合は、医師に相談してください



●仕事

これから先、安心して働き続けるためには
体の状態に合わせた休み方や働き方が必要になることもあります

病院では、患者さんの「働きたい！」をサポートしています

ご相談は、がん相談支援センターへお問い合わせください



●その他

定期受診は必ず受けるようにしましょう

インフルエンザなどの予防接種を希望される場合は、担当医にご相談ください



- 37.5℃を超える発熱が続くとき
- 咳が止まらない日が続くとき
- 吐き気があり、水分や食事がほとんどとれない日が続くとき
- 圧迫しても傷口からの出血が止まらないとき
- 体を起こすことができないほどのだるさが続くとき

上記のような症状がある場合やその他ご心配なことがある場合は
がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】 8：30～17：15
四国がんセンター がん相談支援センター
(直通番号) 089-999-1114

【平日上記時間外および土・日・祝日】
日直/夜間当直師長
(代表番号) 089-999-1111

翌日以降の外来受診日や検査予約日の変更
【平日】 13：00～17：00
四国がんセンター 予約センター
(直通番号) 089-999-1112



Dose-Dense MVAC療法を受けられる方へ